

ひとりで悩まず、誰かに相談～あなたの街の相談パートナー

人権擁護委員をご存じですか

法務大臣から委嘱を受けた人権擁護委員は、地域の方等からの人権相談や、人権を尊重することの大切さについて理解を深めるための普及啓発等の活動を行っています。

相談活動

嫌がらせや差別を受けたり、人権を侵害されたりして困っている方の相談に応じます。秘密は厳守します。

日 時	第2(休)午後1時30分～3時30分 (予約制)
費用	無料
予約・問合せ	総務企画課人権推進係 ☎内線2271

区内の人権擁護委員 (50音順・敬称略)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ▶池田 明子 | ▶小澤 清 | ▶砂田 厚美 |
| ▶伊藤 花恵 | ▶小林美奈子 | ▶高田 正道 |
| ▶上原憲太郎 | ▶榊 真理子 | ▶松熊 貴代 |
| ▶宇津井洋子 | ▶神保 秀久 | |

花とともに育つ人権の思い

人権擁護委員 砂田 厚美氏



人権擁護委員として、初めての仕事は「人権の花運動」という普及啓発活動でした。

この運動は、主に小学生を対象とした啓発活動で、昭和57年度から実施されています。これは、学校に配付した花の種子・球根等を子どもたちが協力し育てることにより、生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としたものです。

長い間、きれいな花を楽しむためには、水やり等のお世話が欠かせません。花を育てることで、自然とみんなと協力してお互いを大事にしていくことを学ぶ機会になっていると思います。そして、「相手の気持ちになって考える」「相手を尊重する」「お互いを認め合い、大切にすること」ということが、お互いの人権を守ることに繋がると、気付いてくれることを願っています。

人権擁護委員の普及啓発活動は、ほかにも「全国中学生人権作文コンテスト」「人権教室」等があります。「人権」の考え方が理解され、多くの子どもたちの心の中に育つことを願って、今後も啓発活動に努めてまいります。

普及啓発活動

人権の花運動

子どもたちが協力して花を育てることを通じて、命の大切さや思いやりの心を育むことを目的に実施しています。令和5年度は、第二瑞光小学校と第二峡田小学校の子どもたちが取り組みました。



▲第二瑞光小学校の皆さん



▲第二峡田小学校の皆さん

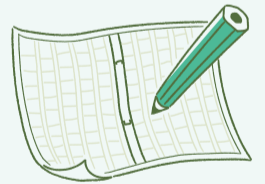
人権教室

人権擁護委員が小・中学校を訪問し、人権についての授業を行い、思いやりの心や人権尊重の大切さを一緒に考える取り組みを行っています。

全国中学生人権作文コンテスト

次代を担う中学生が、日常生活で感じた人権に関する作文を書くことを通じて、人権尊重についての理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に実施しています。

令和5年度は、荒川区代表として南千住第二中学校1年・岡部一翔さんの「新たな世界へ」が選ばれました。



子どもたちの人権メッセージ

小学生が、身近にある人権についての考えをメッセージにすることで、人権への理解を深め、人権尊重の意識を育むことを目的に実施しています。令和5年度は、荒川区代表として第二峡田小学校6年・堀航太郎さんの作品が選ばれました。



第二峡田小学校6年
堀航太郎さん

大切じゃない
個性はない

ぼくは、男女差別は、絶対にやってはいけなと思います。昔は、男子は黒色のランドセルと決まっていたそうです。ぼくは、このように性別で使う物の色が決まってしまうことにとてもおどろきました。

最近、ランドセルの色も自由になったり、制服も選べるようになってきたりして、男女差別はなくなってきたと感じています。

ぼくは、次のような経験をしたことがあります。ぼくの自転車は、ピンク色でした。友達と遊びに行くためにピンクの自転車に乗って行くことになりました。最初は、友達に笑われそうではなかった。乗るのがいやでした。でも、遊びに行ったら友達は、笑うことなく、「かわいいね。」と言ってくれました。それからピンク色の自転車に乗るのが平気になりました。心の中では、そう言ってもらってすごくうれしかったことを覚えています。

このような経験を通して、男だからこつするべきだ、女だからダメだ、という差別がなくなることを願っています。ぼくは、差別をなくすために人を見た目や性別だけで判断しないようにしたいと思っています。

人は、着ている服も別々でかみ型もそれぞれ、考え方や感じ方も人によってちがいで、それと同じで人の個性も様々です。全てが同じ人なんていないのだから、その人の個性をききつけず、その人の個性、人権を一つ一つ大切にしていってほしいです。一人一人の個性、人権を生かしていきける社会で、ぼくは、自分の個性や自分の意見を大切にしていきたいです。